

## 12 もやかきの方法

### (1) もやかきとは

コナラやクヌギを伐採しますと切り株から萌芽枝がたくさん出てきます。萌芽枝は20～50本も出ますが、全ての枝が大きくなるわけではありません。

### (2) 3年後から始める

まず、少しでも早く林をふさぐためには萌芽枝はなるべくそのままにしておきます。続いて3年経過しますと新しい年輪が形成され萌芽史が剥がれなくなります。樹高にして2～3m位になります。こうなると太く素性の良い枝を2～3本残すようにしてゆきます。

### (3) 残す再生枝の見方

残す萌芽枝は、切り株からいずれ独立し、自根を形成させなければ旺盛な成長は望めません。

このため伐採高は低い方が有効に働きます。写真のように古い樹皮がまくれ上がるほど再生状態がよい枝(将来の幹)を残すようにします。当然のことですが、残す萌芽枝は互いに離れるように配慮します。



高い伐り位置では切り株の下から萌芽枝が生える



萌芽枝が独立し自根ができた



萌芽がうまくいった雑木林



自根が形成され再生がうまくいったコナラ